

糖尿病

所属_____

氏名_____

高齢者に多い疾患-糖尿病

問題1 誤りはどれ？

- ①糖尿病には1型糖尿病と2型糖尿病があり，高齢者の糖尿病の多くは1型である。
- ②糖尿病の3大合併症は，糖尿病性網膜症，糖尿病性肝炎，糖尿病性神経障害である。
- ③糖尿病性網膜症を発症すると，視力が低下する。
- ④手足の先で温度を感じる事が難しくなるので，こたつや湯たんぽなどでの低温やけどを生じやすい。
- ⑤高齢者であっても，食事・運動・薬物療法を実施すれば，健康的な生活を送ることができる。

MEMO

高齢者に多い疾患-糖尿病

問題2 誤りはどれ？

- ①薬物療法は、インスリン自己注射が一番に選択される。
- ②インスリン自己注射治療をしている場合、最も注意することは低血糖である。
- ③糖尿病患者は、歯科医師と連携し、口腔内の清潔や歯周病などに注意すべきである。
- ④糖尿病患者は足に潰瘍などができやすいので、フットケアを実施することが求められる。

MEMO

高齢者に多い疾患-糖尿病

問題3 誤りはどれ？

- ①低血糖が起こった場合は、意識があれば経口でブドウ糖を摂取する。
- ②インスリン治療中患者が意識をなくした場合は、安静にして様子を見る。
- ③体調不良で食欲がない時は、インスリン自己注射や糖尿病の内服薬を中止にした方が低血糖を予防できる。
- ④万が一、食事ができない体調の時にインスリン自己注射を投与してしまったら、ブドウ糖やカロリーの高いジュースなどを摂取して低血糖を予防する。

MEMO

高齢者に多い疾患-糖尿病

問題4 誤りはどれ？

- ①血糖値を上げる食品は、糖質だけであるとわかってきた。
- ②カロリー制限よりも糖質制限の方が糖尿病の治療に効果があるのではないかと検討され始めた。
- ③重度の糖尿病患者にインスリン自己注射治療が行われているが、インスリン注射をしない方が、合併症が起らないと考える医師が増え始めている。
- ④糖質を極力少なくして、タンパク質、脂質、ビタミン、ミネラル、食物繊維を十分に食べることが糖尿病の治療食としても有効と考えられ始めている。

MEMO

高齢者に多い疾患-糖尿病

問題5 誤っているのはどれでしょう？

- ①糖尿病の方に生じやすい加齢黄斑変性では、進行すると視力が失われる場合がある。
- ②糖尿病の指標であるヘモグロビンA1cは、検査前6時間の血糖レベルを示している。
- ③インスリン自己注射をしている方が、冷や汗、しびれ、ふるえ、動機などがみられたら、低血糖を疑う。
- ④糖尿病の内服治療をしている方で低血糖症状を認知症の症状が悪化したと間違えられることがある。

MEMO

高齢者に多い疾患-糖尿病

問題6 事例問題

介護施設に入居してこられた、2型糖尿病のBさん（男性、70歳、要介護2）は、施設で提供される食事に対して不満が多く、白米の量が少ないと介護職員に不満をぶつけている。しかし、主治医からは白米は毎食150gしか食べてはいけないと指示が出ている。ご家族もまだ70歳と若いのだから、きちんと主治医の指示通りに食事療法も守ってほしいと頼まれている。介護職員として、どのように対応、工夫するか？

MEMO
